

Dreams come true

夢 はばたけ未来へ！ ～ きみだけの「Hakuou High school Story」を ～



進路指導部長より

新年度が始まりました。新入生は新しい学校に、二年次生は新しいクラスに、三年次生は最後の一年に、様々な思いを持って過ごしていることと思います。4月も終わりに近づいていますが、一日一日をどう過ごすかはとても大切なことです。充実した日々を過ごし、大きく成長して欲しいと願っています。皆さんに3つのメッセージを送ります。

1 夢をもとう

夢は、その人にとって、とても大きな原動力です。「こうなりたい」「これをしたい」それが何かは人それぞれです。是非自分の夢を持ってください。

2 日々の学習を大切にしよう

どのような進路に進むにせよ、基礎学力は大切なものです。

実際、例えば就職ですが、高卒就職をして3年以内に離職した（会社を辞めた）人に対して行ったアンケート「あなたが『初めての正社員勤務先』で正社員として働くことを辞めた理由をすべてお答えください。」（複数回答）では、「仕事が上手くできず自信を失ったため」の回答が、男性=20.8% 女性=16.4%となっています。（調査シリーズNo.191『若年の離職状況と離職後のキャリア形成Ⅱ（第2回若年者の能力開発と職場への定着に関する調査）』 | 労働政策研究・研修機構（JILPT者）

学力を向上させるために、日々の授業が大事なことは言うまでもありません。そして、授業を一所懸命に頑張れば、評定平均も上がります。

3 人とのコミュニケーションを大切にしよう

将来、社会人として、過ごしていく中で、基礎学力以外にも大切なものがあります。それは、コミュニケーション能力に代表される非認知能力です。非認知能力は数値としては見えにくい能力のことを言います。

人との積極的なコミュニケーション、部活動や生徒会活動、学校行事、ボランティア。日頃から心がけ、多くのことに挑戦してください。

進路指導部部長
織田 智加来

令和5年度 卒業生の進路

4年制大学	国公立	0(0)	就職	民間	59(65)
	私立	15(13)		公務員	1(7)
短期大学	国公立	1(0)	その他	2(3)	
	私立	6(5)		就職計	62(72)
看護専門学校	4(5)				
大学校・専門各種	38(59)				
進学計	64(82)				

令和6年度 第1回進路希望調査の結果

	大学短大	大学校	看護医療	専門各種	進学未定	民間就職	公務員	就職未定	未定	合計
1年次	4	0	2	48	20	10	9	21	29	143
2年次	10	3	15	36	13	28	5	20	8	138
3年次	16	0	3	47	10	27	10	27	1	141

私の進路選択 遠藤 嘉代子 先生(英語科)

現在、皆さんは自分の人生についてどのくらい考える時間を持ち、毎日を過ごしていますか？日々思い通りの人生を送ることが出来ていますか？

私は中学生の頃、運動部に所属しておりました。その部活動にて東北大会出場という切符を手にした私は、高校でも継続していくのだろうと日々努力しながら考えていました。しかし、自分の将来進むべき道、つまり就きたい職業を真剣に考え出した中学3年の頃、私の中に「教員になりたい」という気持ちが芽生えます。そのために私は学業優先で高校生活を送りたいと思う気持ちが一層強くなりました。

その結果、運動部での活動は諦め、優先順位を変更し学業中心の高校生活を送ることとなりました。続けようと思えば、運動部での活動も続けられたはず…。ですが進学先の高校には私の大好きなその運動部はありませんでした。そのことを承知で進学した高校。もちろん私の未来図は間違っていないでした。なぜなら、私が大好きなもう一つの「英語」が身近にあったからです。

高校1年の時、転機が訪れます。それはオーストラリアの高校で学んだことでした。初めての海外ではありましたが、幼少期に叔父がアメリカのボストンへ赴任していたことや、小学生時代に英会話学校に通っていたこともあり、海外への興味関心は非常に大きなものでした。そういった状況から、将来私が教員として働いていくなれば、このような立場を存分に活かしていくことができるよう4年制大学で英語科の教員免許取得を目指そう。そう心に決め私の高校生活3年間は過ぎました。ただし、ただ学業のみ優先していたわけではありません。私は3年間皆勤を目指し、無事皆勤で卒業することができました。やはり学業のみならず、何か自分にしかできないことに打ち込むというのは大変大事なことだと思います。努力していく中で新しい自分の可能性を発見できていると思います。きっと、こういった経験は全て人生の糧になっていると信じています。

大学生時代はイギリスの大学にて学ばせていただく機会がありました。それらの経験から、私の中で大学院にて研究を続けていきたいという気持ちがさらに芽生えますが、大学院での研究は諦め、大学卒業後は国立大学法人に就職しました。教員免許を取得しましたが、卒業後すぐに教員になる自信を持てなかった私は、就職を選んだのです。しかし様々な経験を積み、昨年教員採用試験を受験したところ採用通知をいただき、今こうして教員としての歩みをスタートしています。

皆さんに伝えたいことは、人生にはそれぞれの道があるということです。当然ですが、就職や進学はゴールではないということです。人生は続いていくということです。だからこそ、毎日の生活を大切に、自分の道を自分の力で切り開いていって欲しいと思います。

《進路活動、スタートしていますか？》

3年次の皆さんはもうすでに進路について動き始めていると思います。ここでは、「まだ大丈夫」と思っている、主に1・2年次の皆さんを対象にしています。

① 情報収集していますか？

希望する学校の募集要項をチェックするだけでなく、ぜひオープンキャンパスに参加してほしいと思います。オープンキャンパスでは、在学生に話を聞くことができたりもするので、リアルな情報を手に入れることができます。

② 今やらなければならないことをやっていますか？

例えば、家庭学習の習慣をつけることや、元気にあいさつをすることなど、将来の入試や就職試験で求められることを、今のうちに意識して取り組むことが必要です。付け焼き刃のパフォーマンスは、良くない結果として表れてしまいます。

5月の予定

8(水)	3年次小論文模試
11(土)～12(日)	支部総体
13(月)	振替休日(支部総体)
14(火)～24(金)	面談週間
18(土)	2・3年次公務員模試
	3年次看護・医療模試
24(金)	第1回英検(一次)



発行	宮城県迫桜高等学校 進路指導部
TEL	0228-35-1818
FAX	0228-35-1822